



## INDEX

- ・ 高病原性鳥インフルエンザ発生状況 ..... 1
- ・ 令和4年 鳥インフルエンザ経営再建保険 募集開始 ..... 1
- ・ 第8期 家畜防疫互助基金支援事業 参加受付中 ..... 2
- ・ (一社) 日本養鶏協会、鶏糞堆肥の照会窓口 ..... 3
- ・ 「消費者向けポスター・チラシ」—たまごに関する誤認防止に向けて  
改訂版公開のお知らせ ..... 4
- ・ 「いいたまごの日」イベント実施報告 ..... 5
- ・ 令和3年度 公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーンについて ..... 7
- ・ ポリ塩化ビフェニル (PCB) 使用製品、廃棄物の処理期限は令和4年3月31日です  
(農林水産省) ..... 8
- ・ 統計データ ..... 9
- ・ 協会活動報告 ..... 10

## 高病原性鳥インフルエンザ発生状況

下記の表のとおり、ウイルス亜型がH5N8、H5N1と2種類の高病原性鳥インフルエンザが計4例発生しました。会員各位におかれましては、今般の事例を踏まえ、改めて以下の強化・徹底をしていただくようお願いします。

- ①早期発見・早期通報の徹底
- ②家きん飼養農場の防鳥ネット及び破損箇所の確認と修繕
- ③ウイルスの人・車両又は野鳥を含む野生動物を介した農場内及び家きん舎内への侵入防止対策の徹底
- ④農場周辺の消石灰散布の徹底

	地域	疑似患畜判定日	用途	羽数	病原性	亜型
1	秋田県横手市	11/10	採卵鶏	約14.3万羽	HPAI	H5N8
2	鹿児島県出水市	11/13	採卵鶏	約3.8万羽	HPAI	H5N1
3	鹿児島県出水市	11/15	採卵鶏	約1.1万羽	HPAI	H5N8
4	兵庫県姫路市	11/17	採卵鶏	約15.5万羽	HPAI	H5N1

## 令和4年 鳥インフルエンザ経営再建保険 募集開始

令和4年の鳥インフルエンザ経営再建保険の募集を開始しました。

会員の皆さまへは、11月末に関係書類一式を送付させていただきましたので、加入については是非ご検討をお願いします。皆さまが安心して採卵養鶏業に従事できるよう、この機会に鳥インフルエンザ経営再建保険への加入をお勧めいたします。

申込期限	令和4年1月7日(金)
保険料払込期限	令和4年1月14日(金)
保険期間	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年間)
保険料	成鶏1羽あたり3.74円、育成鶏1羽あたり1.87円



また、今回から自然災害（火災、落雷、爆発、風災・雹災・雪災、水災 オプション：熱波、寒波）での保険も新たに始めましたので、こちらも加入をご検討お願いします。それぞれの詳細は、日鶏協ニュース11月号をご覧ください。

■ [日鶏協ニュース 2021年11月号](#)

[https://www.jpa.or.jp/news/general/nikkei/2021/20211029\\_01.pdf](https://www.jpa.or.jp/news/general/nikkei/2021/20211029_01.pdf)

## 第8期 家畜防疫互助基金支援事業 参加受付中

家畜防疫互助事業は、高病原性及び低病原性鳥インフルエンザが万一発生した場合に、安心して経営を維持・継続ができるように、生産者が自ら積み立てを行い、発生農場が経営再開までに必要な経費等を相互に支援する仕組みに、国が補助する制度です。

3年を1期とした事業で、現在も新規参加を受付中です。万が一に備え、是非、家畜防疫互助事業にもご参加いただけますようお願い申し上げます。

### 生産者積立金の単価

鶏 (家族型)	採卵鶏（成鶏）	1羽当たり	8円
	採卵鶏（育成鶏）	1羽当たり	4円
鶏 (企業型)	採卵鶏（成鶏）	1羽当たり	10円
	採卵鶏（育成鶏）	1羽当たり	5円

### 交付単価（限度額）

鶏 (家族型)	採卵鶏（成鶏）	1羽当たり	810円
	採卵鶏（育成鶏）	1羽当たり	380円
鶏 (企業型)	採卵鶏（成鶏）	1羽当たり	970円
	採卵鶏（育成鶏）	1羽当たり	450円

■ [家畜防疫互助基金支援事業](#)

<https://www.jpa.or.jp/prevention/>

【お問い合わせ】 業務第1部 Tel : 03-3297-5515



## (一社) 日本養鶏協会、鶏糞堆肥の照会窓口

### 肥料コスト低減対策と関連し、肥効に優れた鶏糞堆肥に注目が集まる

農林水産省によると、全農が公表した令和4年の春肥価格は、原料価格の上昇が続いており、後期は前期と比べて4～18%の値上げとなっています。

耕種農家の生産現場では、肥料価格上昇による農業経営への影響の軽減に向けて、土壌診断等に基づく施肥設計の見直し、可変施肥など新技術導入の加速化、堆肥など地域の未利用資源の活用など、今後一層の肥料コスト低減に向けた取組の徹底を図ることが重要となっています。

農林水産省は、今年5月に「みどりの食料システム戦略」を策定するなど、農林水産分野における環境負荷軽減や持続的な食料システムの構築に向けた動きが加速しており、今回の堆肥などの地域の未利用資源の活用についても、こうした動きの一環だと考えられます。

そうした中、農林水産省は、肥効に優れた鶏糞堆肥の需給のマッチングを図るため、都道府県別の堆肥供給者リスト等を取りまとめ、[農林水産省WEB](#)に掲載して随時更新としています。

また、都道府県別の鶏糞堆肥の供給者の照会窓口として、各都道府県と（一社）日本養鶏協会がその窓口業務にあたることになりました。

当協会が、地域の耕種農家や各都道府県関係者に対し、鶏糞堆肥供給者、鶏卵生産者の方々を紹介する場合に、地域の事情に詳しい都道府県養鶏協会様や生産者会員の皆さまのご協力を賜ることもあるかと思えます。その折には、今回の事情をご拝察の上、ご協力の程よろしくお願いいたします。

なお、鶏卵生産者の方々を対象に鶏糞の処理等に関するアンケート調査を実施しておりますので、生産者会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

2015年9月に国連で採択されたSDGS（持続可能な開発目標）が世界的な潮流になる中で、環境負荷軽減や持続的な食料システムがこれからの農業生産の焦点になることは間違いなく、将来的にこうした視点から鶏卵生産を考えていく必要が出てきそうです。

#### ■ [都道府県別の堆肥供給者リスト掲載先一覧等](#)

<https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kankyo/taisaku/attach/pdf/index-66.pdf>

【お問い合わせ】担当：浅木 Tel：03-3297-5515



## 「消費者向けポスター・チラシ」—たまごに関する誤認防止に向けて改訂版公開のお知らせ

たまごと「鳥インフルエンザ」・「抗生物質」に関する消費者への正しい情報提供のため、昨年「消費者向けポスター・チラシ」を作成し、データを当協会WEBに掲載いたしました。

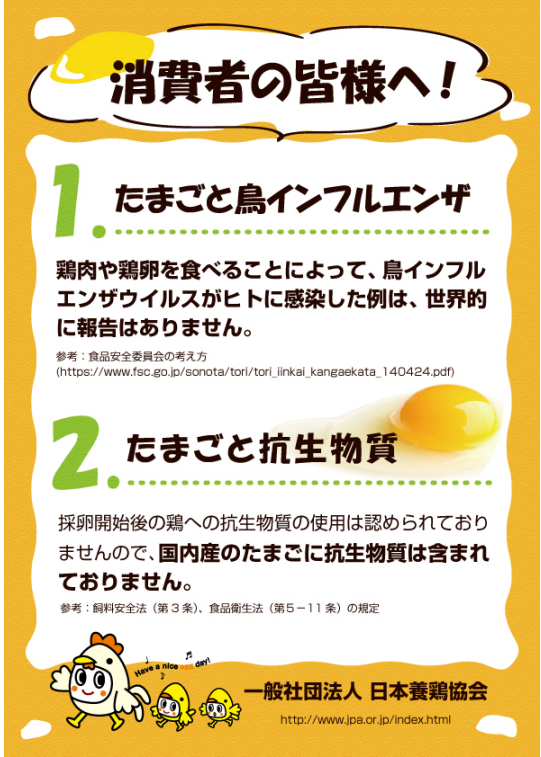
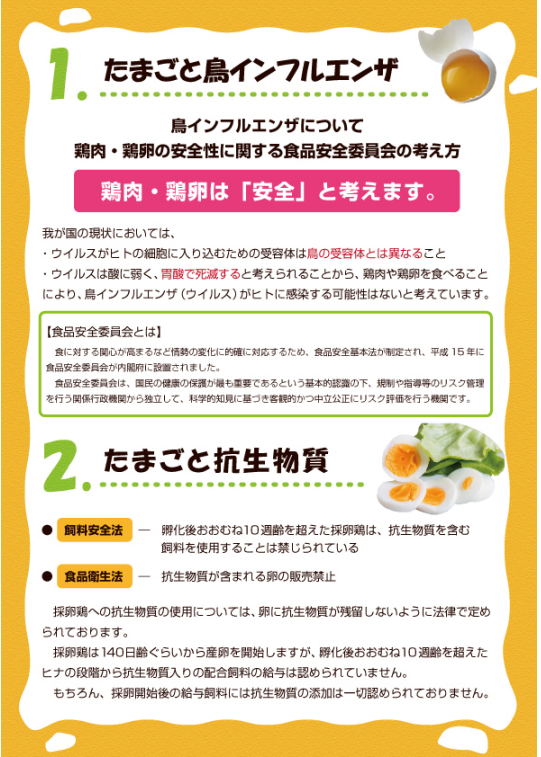
このたび、関係各所の再確認をいただき、最新版データのWEB掲載を開始いたしましたのでお知らせいたします。

### ■「消費者向けポスター・チラシ」データ

<https://www.jpaa.or.jp/news/consumer/>

文字数を絞り目立たせるための「アピール用：A版」と、情報の裏付けを含め細かい内容を掲載した「詳細用：B版」の2枚を掲載しております。

2枚を連続してポスターとしてご使用、両面印刷でチラシとしてご使用、A版のみの単独使用など、様々な活用法にてお使いいただければ幸いです。

A版「アピール用」	B版「詳細用」
 <p><b>消費者の皆様へ!</b></p> <p><b>1. たまごとと鳥インフルエンザ</b></p> <p>鶏肉や鶏卵を食べることによって、鳥インフルエンザウイルスがヒトに感染した例は、世界的に報告はありません。</p> <p>参考：食品安全委員会の考え方 (<a href="https://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori_inkai_kangaekata_140424.pdf">https://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori_inkai_kangaekata_140424.pdf</a>)</p> <p><b>2. たまごとと抗生物質</b></p> <p>採卵開始後の鶏への抗生物質の使用は認められておりませんので、国内産のたまごに抗生物質は含まれておりません。</p> <p>参考：飼料安全法（第3条）、食品衛生法（第5-11条）の規定</p> <p>一般社団法人 日本養鶏協会 <a href="http://www.jpaa.or.jp/index.html">http://www.jpaa.or.jp/index.html</a></p>	 <p><b>1. たまごとと鳥インフルエンザ</b></p> <p>鳥インフルエンザについて</p> <p>鶏肉・鶏卵の安全性に関する食品安全委員会の考え方</p> <p><b>鶏肉・鶏卵は「安全」と考えます。</b></p> <p>我が国の現状においては、 ・ウイルスがヒトの細胞に入り込むための受容体は鳥の受容体とは異なること ・ウイルスは酸に弱く、胃酸で死滅すると考えられることから、鶏肉や鶏卵を食べることにより、鳥インフルエンザ（ウイルス）がヒトに感染する可能性はないと考えています。</p> <p>【食品安全委員会とは】 食に対する関心が高まるなど情勢の変化に的確に対応するため、食品安全基本法が制定され、平成15年に食品安全委員会が内閣府に設置されました。 食品安全委員会は、国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、規制や指導等のリスク管理を行う関係行政機関から独立して、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正にリスク評価を行う機関です。</p> <p><b>2. たまごとと抗生物質</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>飼料安全法</b> — 孵化後おおむね10週齢を超えた採卵鶏は、抗生物質を含む飼料を使用することは禁じられている</li> <li>● <b>食品衛生法</b> — 抗生物質が含まれる卵の販売禁止</li> </ul> <p>採卵鶏への抗生物質の使用については、卵に抗生物質が残留しないように法律で定められております。 採卵鶏は140日齢ぐらいから産卵を開始しますが、孵化後おおむね10週齢を超えたヒナの段階から抗生物質入りの配合飼料の給与は認められていません。 もちろん、採卵開始後の給与飼料には抗生物質の添加は一切認められておりません。</p>

【お問い合わせ】 業務第3部 Tel : 03-3297-5515



## 「いいたまごの日」イベント実施報告

【日時】 令和3年11月5日（金）13:30～15:40

【場所】 J A全農たまご株式会社 キッチンスタジオ  
（東京都新宿区中落合 2-7-1）

11月5日は「いいたまご（1105）の日」。今年も（一社）日本卵業協会、（一社）日本養鶏協会の共同開催にて、農林水産省のご後援をいただきイベントを開催いたしました。

新型コロナ対策のため、昨年に引き続き参加者が一堂に会しないリモート開催形式にて行いました。今回はJ A全農たまご株式会社のご協力をいただき、全農たまごキッチンスタジオをベースに全国6か所の高校を映像により結ぶという形式にて開催しました。

現場で調理が行えないため事前に調理の全工程ビデオをお送りいただくなど、参加の皆さまへもご負担をお願いすることとなりました。皆さまのご協力に感謝いたします。

前半は、7回目を迎える

「たまごニコニコ料理甲子園」。

今年は、全国から約1,300件の応募があり、予選を勝ち抜いた全国6地域の高校生チームによる創作料理の調理映像により厳正な審査を行い、グランプリを筆頭に6賞の受賞が発表されました。



### ■ [20211105いいたまごの日料理甲子園表彰式 & 料理ショー](https://youtu.be/HBrhDA7IGHY)

<https://youtu.be/HBrhDA7IGHY>

#### 👑 グランプリ受賞作品

「だし巻き真薯揚げ ジャーザーのせ」

近畿エリア：大阪府－加島さん



#### 👑 準グランプリ受賞作品

「半熟卵の生ハム巻き i n ゼリー」

中国・四国エリア：東京都－桑原さん



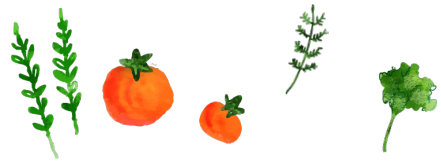


 その他

- デリシャス賞 「ふわふわ玉子の2層テリーヌ」九州・沖縄エリア：福岡県－立野さん
- アイデア賞 「桜舞い散るトロトロ茶碗蒸し」中国・四国エリア：岡山県－高村さん
- 栄養満点賞 「パンプキントルティージャ」北陸・東海エリア：福井県－チーム：ハロウィンウィッチ
- 彩（いどり）賞 「とろりと流れ出すきみのサラダ」北海道・東北エリア：山形県－橋間さん



きじまりゅうたの料理ショー



後半は、参加の高校生チームを対象とした、料理研究家きじまりゅうた先生による実演・講演「きじまりゅうたの料理ショー」を実施。

きじま先生の軽妙なトークを交えつつ、2種類の料理を紹介。参加者の皆さんは先生の楽しい話術に引き込まれ、リモートによる距離を感じさせない雰囲気です。新しいメニューの紹介を楽しんでいました。



カリカリめだま焼きのしらす丼



「冷凍卵のめだま焼き」お好み焼き風小丼

【お問い合わせ】 業務第3部 Tel : 03-3297-5515



## 令和3年度 公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーンについて (鶏卵公正取引協議会)

鶏卵公正取引協議会は「公正マーク」の普及促進活動の一環として、年2回「公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーン」を実施しています。  
クイズの正解者の中から抽選で、100名様に会員事業者の「公正マーク付きたまご」30個をプレゼントします。



第1回目は、令和3年10月18日(月)～令和3年11月17日(水)で実施しました。  
毎回多数の応募者がありますが、今回は14,619名の応募を頂きました。

公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーン

クイズに答えて  
抽選で100名様に  
たまご30個が当たる

応募期間 2021年 10月18日(月) 10:00 → 11月17日(水) 18:00

<p>たまご・ひと口知識</p> <p>たまごは毎日食べても大丈夫！</p> <p>詳しく見る</p>	<p>たまごかけごはんの秘密</p> <p>簡単なのに、抜群のバランス食。</p> <p>詳しく見る</p>
---	--

たまご・ひと口知識とたまごかけごはんの秘密を閲覧してから、

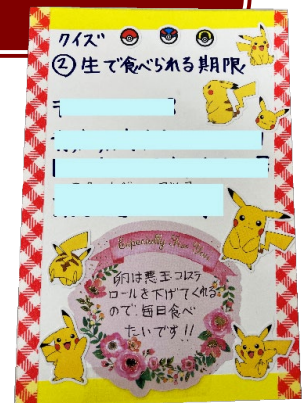
キャンペーンに応募する！

今回のクイズの問題は、

Q. たまごの賞味期間とはなんですか？

- A 1. 美味しく食べられる期間
- A 2. 生で食べられる期間
- A 3. 衛生的に食べられる期間

ハガキでも応募がありました(^-^)



今回は、消費者がどの程度正しい認識を持っているかを合わせて確認する趣旨で実施しました。

正解者数は11,472名、正解率は78%でした。誤回答は圧倒的にA1でした。  
クイズのため、正解を調べて回答した方も多くいると推察すると、正しく理解されていない消費者もまだ多く、適切な情報提供が必要だと思われます。  
第2回目は令和3年12月20日～令和4年1月19日に実施予定です。  
是非、ご期待ください。

【お問い合わせ】 鶏卵公正取引協議会 事務局

Tel : 03-3297-5516 WEB : [https://www.jpa.or.jp/keiran\\_root/](https://www.jpa.or.jp/keiran_root/)



## ポリ塩化ビフェニル（PCB）使用製品、廃棄物の処理期限は 令和4年3月31日です（農林水産省）

高濃度ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物については、国が全額出資した特殊会社である中間貯蔵・環境安全事業株式会社（以下「JESCO」という。）を活用し、地元の理解と協力の下、全国5か所の処理施設を活用して処理が行われているところです。高濃度PCB廃棄物は各事業所が所在するエリアごとに処理期限が決まっており、変圧器・コンデンサー等については、北九州・大阪事業エリアは既に処理期限を経過しており、本年度末（令和4年3月31日）をもって残りの処理場（豊田、東京、北海道事業エリア）が最終処理期限を迎えます。

自ら管理する施設において、高濃度PCB廃棄物の保管等をしていないかあらためて確認いただくとともに、保管等している場合は、確実かつ早期にJESCOに処分委託手続き等を行っていただきますようお願いいたします。

高濃度PCB廃棄物の地域別処分期間等

JESCOの処理施設	高濃度PCB廃棄物の種類	保管の場所の所在する区域	処分期間	計画的処理完了期限
北九州 (北九州市若松区)	廃PCB等、廃変圧器、 廃コンデンサー等	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	平成30年 (2018年) 3月31日まで	平成31年 (2019年) 3月31日まで
大阪 (大阪市此花区)		滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	平成33年 (2021年) 3月31日まで	平成34年 (2022年) 3月31日まで
豊田 (愛知県豊田市)		岐阜県、静岡県、愛知県、三重県	平成34年 (2022年) 3月31日まで	平成35年 (2023年) 3月31日まで
東京 (東京都江東区)		埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県		
北海道 (北海道室蘭市)		北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県		
北九州 (北九州市若松区)	上記以外の高濃度PCB廃棄物(安定器、汚染物等、3kg未満の廃変圧器等及びこれらの保管容器)	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	平成33年 (2021年) 3月31日まで	平成34年 (2022年) 3月31日まで
北海道 (北海道室蘭市)		北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県	平成35年 (2023年) 3月31日まで	平成36年 (2024年) 3月31日まで

### ■ポリ塩化ビフェニル廃棄物の早期処理について（農林水産省）

[https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/shisetsukankyo/s\\_pcb.html](https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/shisetsukankyo/s_pcb.html)

### ■中間貯蔵・環境安全事業（株）（JESCO）

<https://www.jesconet.co.jp/>





## 統計データ



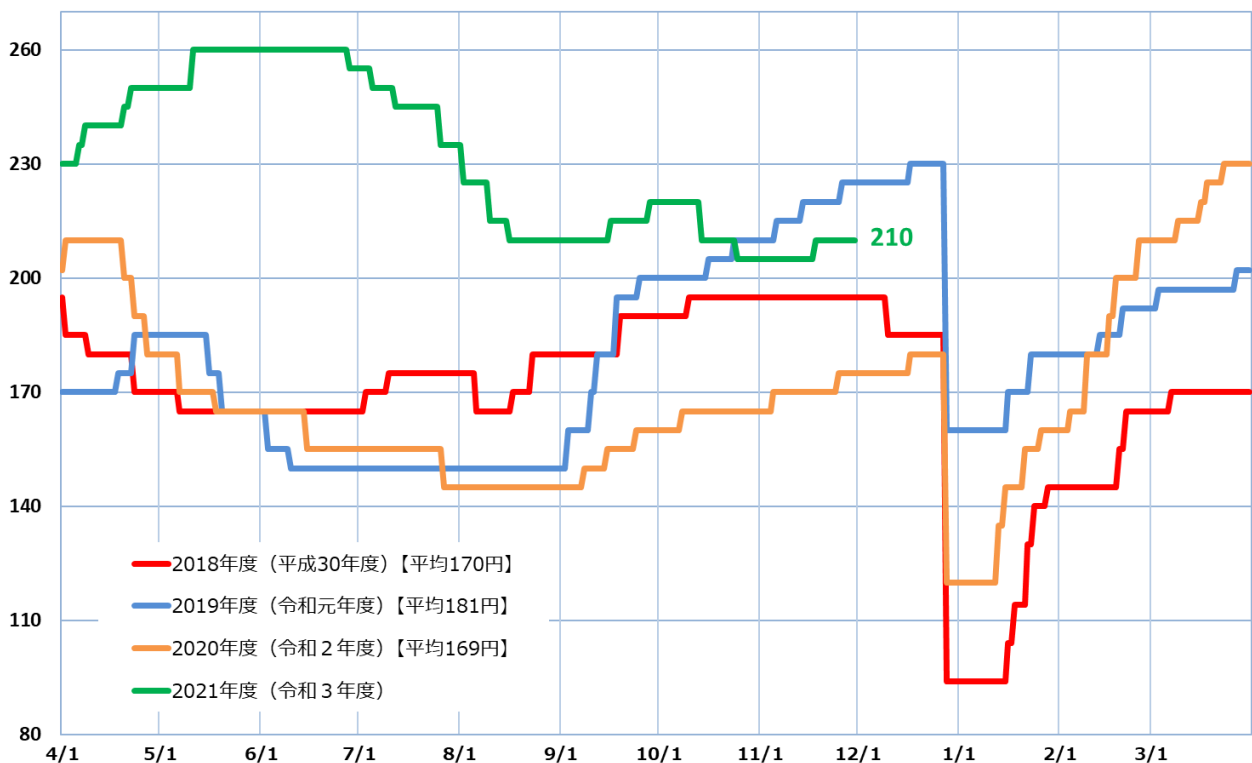
### 鶏卵相場動向 — 過去10年間の11月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成24年	209	248	187
平成25年	260	298	219
平成26年	242	263	234
平成27年	252	273	244
平成28年	231	253	216
平成29年	228	248	219
平成30年	195	213	189
令和元年	219	243	204
令和2年	171	195	159
令和3年	207	230	199
平均値	221	246	207

令和3年11月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値230円は、過去10年の平均値246円を16円下回り、安値199円は、過去10年の平均値207円を8円下回っています。



### 鶏卵相場推移 2018年度～2021年度 東京全農Mサイズ 円/kg



10月下旬に205円まで下がり、11月中旬まで205円が続きましたが、11月下旬は210円まで上がりました。



## 鶏卵関係主要計数 —— 令和3年9月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比	数量(g)	前年比	前年	本年
2年 10月	8,978	100.1%	489	98.4%	983	105.8%	204	164
11月	8,950	93.3%	472	96.2%	949	107.8%	219	171
12月	8,602	97.0%	529	100.4%	1,007	109.8%	227	178
3年 1月	8,518	83.9%	450	93.4%	951	115.0%	170	142
2月	8,892	104.5%	440	92.8%	920	99.4%	185	183
3月	9,040	89.4%	507	101.1%	943	93.0%	197	220
4月	9,654	103.9%	476	94.5%	978	94.4%	202	241
5月	9,183	95.6%	464	97.5%	1,004	97.4%	168	258
6月	10,083	107.8%	476	100.9%	882	94.3%	160	259
7月	9,867	100.0%	462	95.2%	903	93.5%	153	245
8月	8,140	98.1%	451	101.6%	915	98.3%	145	215
9月	8,924	111.2%	467	102.1%	902	99.3%	153	213
1年間合計 平均(%)	108,831	98.7%	5,683	97.8%	11,337	100.7%	182(平均)	207(平均)

- ・雛餌付羽数は、8,924千羽（前年比111.2%）と前年比11.2%増となりました。
- ・配合飼料出荷量は、467千トン（前年比102.1%）と前年比2.1%増となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、902グラム（前年比99.3%）と前年比0.7%減となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の60円高を示しました。

### 協会活動報告

### 鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

①価格差補填事業の事業参加者との ②令和3年度11月 標準取引価格 205.93円/kg  
契約数量（トン/月当たり）

平成30年度	169,171
令和元年度	167,141
令和2年度	163,160
令和3年度	153,391

③鶏卵価格差補填事業  
補填基準価格 181円/kg  
安定基準価格 159円/kg

| 協会年会費 第2回納付分 納入のお願い |  
令和3年度協会年会費を全納されていない会員様は、  
**12月24日（金）まで**にお振込みをお願いいたします。

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会  
〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内（5階）  
Tel：03-3297-5515 Fax：03-3297-5519 発行日：2021年12月2日  
編集・発行責任者：浅木 仁志 (info@jpa.or.jp)